

2013年8月26日
NTTコミュニケーションズ株式会社

「クラウドテストベッドコンソーシアム」が 「Biz ホスティング Cloudⁿ」をクラウド基盤とした オープンデータ活用・アプリケーション開発実証環境の提供を開始

NTTコミュニケーションズ(略称: NTT Com)のパブリッククラウドサービス「Biz ホスティング Cloudⁿ」(呼称: クラウド・エヌ)は、総務省などが2011年に設立した「クラウドテストベッドコンソーシアム^{*1}」により、主に中小企業がアプリケーション開発などに利用できるクラウド基盤として採用されました。クラウドテストベッドコンソーシアムは、約80社の会員に向けて、本クラウド基盤のIaaS^{*2}環境に続き、会員がより簡易にアプリケーション開発を行うことができるPaaS^{*3}環境を2013年8月26日より提供開始します。

1. 背景

2020年までの政府の新たなIT戦略指針として、2013年6月14日に閣議決定した「世界最先端IT国家創造宣言」では、「ビッグデータの利活用の促進」および「公共データの民間活用(オープンデータ^{*4})の推進」が重要な柱の1つとして位置付けられています。オープンデータは、市場規模が約1.2兆円、経済波及効果が約5.5兆円とも推定され、欧州では2011年に「欧州オープンデータ戦略」を策定、本年6月に開催された主要8カ国首脳会議(G8)においても「オープンデータ憲章」が定められており、日本ではオープンデータへの取り組みの遅れが指摘されるとともに、政府や自治体が保有するデータの民間利用の促進に注目が集まっています。

このような中で、クラウドテストベッドコンソーシアムでも、政府統計データベース「e-Stat」^{*5}をクラウド上でオープンデータとして提供し、ビジネス利用促進を図るとともに、アプリケーションやサービスを開発できる実証環境の整備に積極的に取り組むこととなり、そのクラウド基盤として、「Biz ホスティング Cloudⁿ」が採用されることとなりました。

2. 「Biz ホスティング Cloudⁿ」採用のポイント

中小企業におけるオープンデータの活用・アプリケーション開発に際しては、仮想サーバー(IaaS)やアプリケーション開発(PaaS)環境に加え、自社データや政府統計データの外部とのやりとりなどに必要なネットワーク環境なども、安価で簡易なものが望まれます。

「Biz ホスティング Cloudⁿ」は、本環境のクラウド基盤として、外部とのデータ転送料(アップロード・ダウンロード双方)無料など運用コストが安価な点、IaaS以外の付加機能としてPaaS環境を提供できる点、また通信事業者ならではのネットワーク基盤や自社データセンターにクラウドのための機器を設置するなどの堅牢性に対し高い評価を得ました。またオープンデータ政策については総務省の「防災・災害関連情報分野のデータ規格及びデータの流通・連携に係る実証」に参加するなど、NTT Comの高い知見も評価されました。

3. 会員向けに提供する開発環境の内容

今回「Biz ホスティング Cloud[®]」の中から、クラウドテストベッドコンソーシアムが、参加する会員企業へ、以下の機能・サービスを提供します。

(1) 仮想サーバーおよびテンプレートの提供

開発実証用のクラウド環境として、仮想サーバー、Cent OS のテンプレート、Windows Server のテンプレート機能を提供します。

(2) PaaS 環境の提供

アプリケーション開発・運用の試験用に、PaaS 環境を利用者限定で提供します。

※申請のあった会員企業様へ限定で提供します。

※本環境では、Java、Ruby や PHP などの複数言語で記述されたアプリケーションの試験、運用が可能となります。

(3) 勉強会開催など各種クラウド活用の支援

「政府統計データベース」を活用したクラウドサービスの開発をサポートする、PaaS 環境を利用するための勉強会などを会員向けに開催いたします。

4. クラウド実証環境の提供期間

2014 年 2 月 28 日（金）まで

※参加団体は、実証試験後、速やかに結果を総務省に報告することとなっています。

5. 今後のサービス展開

NTT Com は、クラウドテストベッドコンソーシアムで得た知見・ノウハウをもとに、クラウド上で各種データを扱うアプリケーション事業者や団体との連携を図りながら、「政府統計データベース」などのオープンデータの民間によるビジネス展開を、クラウド基盤の提供を通じて支援していきます。

*1) クラウドテストベッドコンソーシアムとは。

主に中小企業のクラウドサービスの開発および事業化の支援を目的に、民間における統計情報の活用ニーズについて調査・分析、新たなクラウドサービスの開発を通じて統計情報の機械判読可能な提供方法等に関する検討を行っています。(公式ホームページ <http://www.cloud-testbed.jp/index.html>)

*2) IaaS とは。

Infrastructure as a Service の略。サーバー、CPU、ストレージなどのインフラをサービスとして提供すること。

*3) PaaS とは。

Platform as a Service の略。アプリケーションを稼働させるための基盤（プラットフォーム）をサービスとして提供すること。

*4) オープンデータとは。

狭義には、政府や自治体などの公共機関がオープンに提供可能な行政情報で、機械判読に適したデータ形式で提供される二次利用可能なデータを指します。

*5) 政府統計データベース「e-Stat」とは。

統計法により定められる国の行政機関・地方公共団体などが作成する統計「政府統計（公的統計）」のデータベース。